

第三セクター等に対する改善案（要旨）

1 評価・検証団体

公益財団法人 周南市文化振興財団

2 評価・検証の基本的な考え方

第三セクター等は地方公共団体等が進めるまちづくりにおいて重要な役割を担っている一方、経営が著しく悪化した場合、地方公共団体等の財政に重大な影響を及ぼすだけでなく、市民サービスの低下を招く恐れがあります。

こうしたことから、主に「経営健全化」と「安定的な公共サービス提供」の視点から、評価・検証を実施しました。

3 経営改革案の提案

○財団は、文化振興面において市政における一翼を担っているとともに、市と連携し、または市を補完する形の中で施策・事業を進めていくことが求められています。

こうしたことから、まずは財団と市との間において、改めてお互いの役割分担、財団が果たさなければならない役割を明確にすることを提案します。

○必要人員を精査し、早急に計画的な若い職員の採用・補充を図っていくことを提案します。

特に学芸員の計画的な採用・補充は非常に重要な問題であり、市と協議の上、対応を急がれることを提案します。

○学芸員をはじめ、専門知識や専門技術を有する職員が本来の業務に専念できるよう、体制、環境等を見直すことも併せて提案します。

4 新たな提案

「(公財) 周南市ふるさと振興財団」、「(公財) 周南市体育協会」、「(公財) 周南市文化振興財団」の3つの団体において、改めて現状を踏まえ、財団が果たすべき役割を検証し、認識することが必要であるとともに、周南市のまちづくりを補完するために設立された3つの公益財団法人が連携し、将来を見据え、課題解決に当たることを提案します。

3つの公益財団法人が統合し、一つの組織となることで、スケールメリットを生かして、公益財団法人に係わる事務や指定管理業務など共通する事務を一つのセクションで行うなど、無駄を省き新たな展開につなげることにより、「共創」による新たな価値の創造や新しいサービスの提供も期待できますが、統合ありきではなく、お互いの胸襟を開いて検討のテーブルにつかれることを提案します。